別府市農業委員会の委員の推薦及び応募状況の詳細（3月31日時点）

農業委員に推薦を受けた者及び応募した者のリスト（受付順）

番号	推薦・応募の別	被推薦者又は応募者								推薦者										推進委員への推薦・応募の有無
										個人				法人又は団体						
		氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況		認定農業者	抱負・応募の理由	氏名	性別	年齢	職業	組織の名称	代表者又は管理者の氏名	活動の主たる目的	構成員数	構成員の資格、用件等	推薦理由	
							営農類型	耕作面積(a)													
1	推薦	齊藤 孝一	男	70	農業	S51.9～消防団員 H22.7～就農 H29.7～別府市農業委員会委員 R2.7～別府市農業委員会会長職務代理 R5.7～JAべっぷ日出理事	水稲	175	該当	長年農業に携わり、地域の農業を支える一翼を担ってきました。 高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増加は深刻な問題です。 3期9年間の経験を活かし、問題解決に向け努力し、別府市の農業振興・発展に貢献していきたいと思います。	田原 愼治 三宅 信雄 田中 信行	男 男 男	74 76 76	農業 農業 農業						これまでの3期の経験などから農家の情報に精通しているため、地域の農業者の信任を得ている。 担い手不足により耕作放棄地が増えている中、自ら規模拡大を実践し、精力的に活動しているため、農業委員会業務に貢献できると考える。	無
2	応募	彌田 和好	男	67	農業	S61.4～ 就農 S61.11～H28.3 消防団員 H11.7～H17.7 別府市農業委員会委員 H19.2～H23.6 JAべっぷ日出理事 H26.7～H29.7 別府市農業委員会委員 H29.8～R5.7 別府市農地利用最適化推進委員 R5.7～ 別府市農業委員会委員	水稲 野菜	60	非該当	農業を続けてきましたが、農業者の高齢化などにより、年々荒廃していく農地を目の当たりにし、農業委員の活動を通して、新規就農の開拓・斡旋を進め、少しでも農地の荒廃に歯止めをかけられるよう、微力ながら尽力していきたい。												無
3	推薦	星野 賢一	男	55	農地所有適格法人代表	H7.4～H13.12 株式会社西日本銀行 H14.1～H15.4 株式会社アスキー H15.5～ 有限会社かぼす本家代表取締役 H20.4～ (公社)別府法人会理事 H29. 7～ 別府市農業委員会委員 R1.6～ 合同会社Kabohon代表社員 R2.9～ (一社)別府市観光協会理事・青年部顧問	果樹	400	該当	これまでの3期の経験をもとに、農地の積極的活用をすすめ、集約化・集積化に努めます。 また、別府市の農業を推し進めるために、農業委員会内での調整・調和を図りつつ、対外に向け存在感ある発信に努めます。	松本 敏晴 河野 享史 草野 浩三	男 男 男	72 45 58	農業 農業 農業						当地区でかぼす栽培を行っており、今後の農業発展に必要な人物で頑張ってくれることと思います。 法人は地域計画の担い手として頑張っている。	無
4	応募	久保 賢一	男	75	農業	S44.4～H23.3 別府市消防本部 H23.7～ 別府市農業委員会委員 H24.4～ 別府市自治委員 R1～ 別府市農業委員会会長	水稲	250	該当	令和元年に農業委員会会長に互選されて以来、担い手が安心して農業に参入できるように尽力してまいりましたが、当市は農業者の高齢化、後継者不足等、前途多難と憂慮されています。 そのため、農業・農村を守り、健全な発展に寄与するために、法令順守等の高い倫理観を持ち、期待と信頼に応えたい。												無
5	応募	小畑 義宏	男	60	農業	H2.4～H20.3 カルソニック(株) H20.7～ 就農 H21.5～ 自治会組長 H28.5～R2.4 自治会役員 R2.7～ 別府市農業委員会委員	水稲	60	非該当	農業者の更なる高齢化が進んでいる。もう1年、もう1年と声をかけ、耕作していただいている。 耕作放棄地の増加を防ぎつつ、景観作物等できれいにして魅力ある農地(地区)にしていきたい。 また、今後の農業について、農業委員会等で引き続き議論していきたい。												無
6	推薦	後藤 浩昭	男	64	会社員・農業	S62～H11 杉乃井ホテル H11～H13 ホテルサンバリー H11～ 別府市消防団員 H13～H29 ピーアンドピー H30～R4 三大物流有限会社 R4～ ワタキューセイモア株式会社	水稲	51.9	該当	私はこれまで別府市で30年間農業に従事し、現場の声を直接聞き取ってまいりました。 近年、地域の高齢化による耕作放棄地の増加を危惧しております。 農業委員に選任されましたら、農地の有効活用と優良農地の保護を第一に考え、公正・中立な立場で審査に臨みます。					内成活性化協議会	梶原 聡博	棚田の維持管理を通じて地域の活性化をはかる。	60	棚田の活動に参加できること	内成地区の農家として30年以上の経験があり地区の一員として今後も積極的に活動していくことが期待されるので農地利用の最適化にとって必要な人材であると思われる。	無
7	応募	久恒 美千代	女	66	無職	S55.4～R3.3 別府市役所 R5.7～ 別府市農業委員会委員	-	-	非該当	人手不足や気象条件の悪化等による農産物の価格高騰など農業を取り巻く環境はますます厳しい状況となっています。 諦めることなく、私たちに何ができるか、これまでの農業委員としての活動経験から将来の農業について考えていきたいと思います。												無